

- ⑧ 送信周波数切り替えスイッチ (SEND CH)  
送信の周波数は A と B の切り替えが出来ます。A チャンネルには、予め 50.620 MHz の水晶が入っておりますが B チャンネルはオプションですので購入時は空チャンネルです。  
オプションの水晶を B チャンネルに入れないと送信出来ません。（動作しません。）

#### ⑨ 外部スピーカ端子 (SP)

外部スピーカに接続したり、イヤホンで聞きたい時にここへ差し込みます。（インピーダンス 8Ω）  
プラグは 2.5 φ の物が必要です。

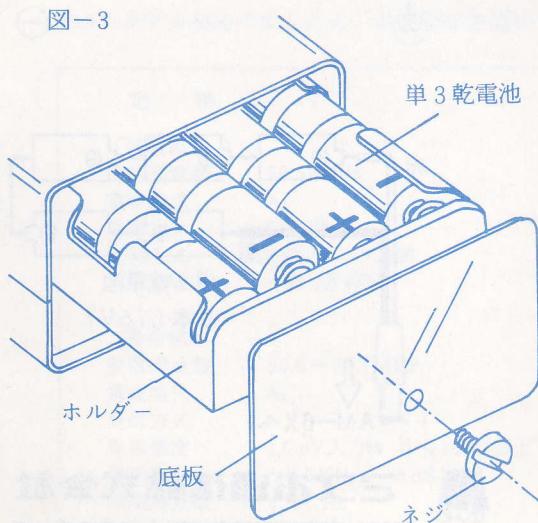
#### ⑩ 外部電源端子

付属の電源コードのプラグを差し込み、外部からの電源を供給しますが電圧は直流 (D C) 6 ~ 7 V が標準ですから注意して下さい。（後述、図-8 参照）赤色が①、黒色が②です。

### 5. 電池の入れ方

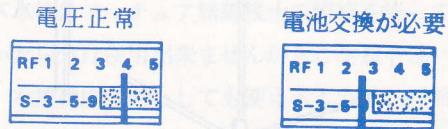
- ① 底部のネジをゆるめて底板をはずし、電池ホルダを取り出します。
- ② 単3乾電池 (SUM-3) 4本を①②に注意して入れたら、底板をネジどめします。

図-3



- ③ 電池の取換時期は送信状態にしてレベルメータを見て判断して下さい。（図-4 参照）

図-4



### 6. 屋外アンテナとの接続について

本機の送信出力は QRP (小電力) ですから付属のヘリカルラバーアンテナですと交信範囲は 500 m 位が限界です。しかし屋外アンテナを使い、E スポなどの FB な条件がそろえば思わず遠距離との交信も可能です。

- ① インピーダンス 50Ω のアンテナ (50 MHz 用の多素子八木アンテナやグランドプレーン等) をご使用下さい。
- ② 給電用同軸ケーブルも 50Ω 系 (3D2V や 5D2V) を使いプラグは本機に合わせ BNC 接栓にします。しかし一般的には M 型接栓が多く、すでに M 型が付いている場合もあると思います。そんな時は、BNC を M 型に変換する中継変換コネクタを併用すると便利です。  
この変換コネクタは、ミズホ通信でも販売しております。（定価￥800 送料￥200）

図-5

BNC, M型変換コネクタ

